「辻よし子と歩む会」通信 23 号　2017 年 11 月 9 日発行

HP「辻よし子と歩む会」で検索
FB、ツイッターもやっています！

辻よし子と歩む会

「辻よし子と歩む会」
〒 190-0154
あきる野市高尾 182-1 佐橋方
電話＆ FAX：042-596-4569
e-mail：kusasigi@nifty.com
共同代表：柏倉倫子・岩田純子

小さな声に耳をすまし、大きな力にひるまず、コツコツと手作りの政治を！

市民はしっかり見ているよ
～９月議会の一般質問を傍聴して～

辻さんの一般質問は引田駅北口の区画整理事業についての質問から始まりました。区画整理事業について辻さんは何度も反対者置き去りの市の進め方を追及してきました。反対者と膝をまじえてじっくり話し合う場を持つという市の答弁がなされてから半年以上たった今も、それは行われていません。今回市長が約束した早期の話し合いの実現を望むばかりです。

後半は汚水整備計画についてでした。市が委託して作成した汚水整備計画案報告書が、単純な数字の間違いや、シミュレーションの計算方法など重大な誤りがあることを６月の市議会で辻さんが明らかにしました。その際「これから精査します」との答弁を確かに聞きましたが、市長は今回も「妥当性について精査しています」との答弁。高い委託料を払った報告書のおそまつな誤りに対して３カ月経ってもこの答弁。私は開いた口がふさがりませんでした。結局、修正すべき欠陥があることを部長が認める答弁をしましたが、市長は、議会での質問は市民の代表である議員が市民に代わってしているのだと肝に銘じて欲しいです。市民はしっかり見ていますよ。

翌日、自民党志清会のＡ議員が辻さんの区画整理事業の一般質問に対して成田空港反対闘争を引き合いにして批判したと聞きました。録画でＡ議員の発言を確認しましたが、少し調べればわかるような事実誤認があり、事実を確認せず思い込みによる無責任な発言をしたＡ議員には猛省を促したいと思います。（Ａ・Ｍ　小川東在住）

意見陳述は別室で？？
～９月議会の委員会を傍聴して～

９月 13 日、環境建設委員会を傍聴しました。

この日の案件は７つ。その最後に「武蔵引田駅北口土地区画整理事業の見直しを求める陳情」がありました。冒頭、陳情者の意見陳述があるというので、生の声を聞けるのかと思いきや、陳情者と委員だけが意見陳述のため別室へ……。市長はじめ市側の人たちと傍聴人がとり残されてしばらく待ち、陳情者と委員が戻ってきて審議がスタート。なんでこの場で意見陳述できないの？　当事者の意見陳述の中にこそ、陳情した切実な思いが込められているはずなのだから、市側も傍聴人もそれを聞けた方がよいのではないの？　と素朴な疑問がよぎります。

審議の冒頭、辻さんが、この陳情が 1950 筆の署名と共に提出されていることについて「この数の重みをどう受けとめるか」と市長に質問しました。市長は「議会に出されたものだから」という理由で何も答えませんでした。議会に出されたものであっても、市の事業についての陳情です。逃げているような返答の市長にこそ、陳情者の生の声を聞いてもらえたらよかったのに、と思いました。なお、陳情は４：２（委員長を除く委員６名）で残念ながら不採択となりました。

（Ｉ・Ｊ　渕上在住）

議会 mini リポート by 辻よし子

市議会は、合議制の意思決定機関です。多様な意見を代表する議員同士が、単なる多数決ではなく、それぞれの立場で意見を述べ、熟議を重ね、意思決定をすることに大きな意義があります。しかし、残念ながら今の議会は、「熟議」と呼べるような話し合いはほとんどされていません。今回の環境建設委員会では引田駅の区画整理事業に関する陳情審議もあり、私なりに討議を深める努力をしましたが、残念ながら満足のいく結果は得られませんでした。また、行政をチェックすることも市議会の役割の一つです。一般質問では、市民感覚で「おかしいでしょ」と思う問題を市側にぶつけました。報告書の誤りなど、問題を投げかけなければそのまま終わってしまったであろうことが、改善されつつあることは一つの成果だと思います。それにしても、行政はなかなか誤りを認めないものだと改めて感じた９月議会でした。（辻よし子）

「夢の給食」へ　市民と行政の対話を
～第１回市民のプラットホーム報告～

市民が行政課題について、市から情報を得、自由に意見を交わしていく場、「市民のプラットホーム」。10 月 6 日に、その第１回として、学校給食を取り上げることにしました。市の出前講座の一環として位置付けていただいて、教育委員会から４人の行政マンが日頃の給食行政の進め方や将来建設予定の新給食センター案についてお話しにきてくださいました。

それによると、現在あきる野市の給食センターは秋川に２か所、五日市に１か所あり、「栄養バランスが取れた安全で安心・おいしい給食」、「給食を通じて食の大切さや食文化を伝える」をモットーに小・中学校あわせて毎日 7500 食を提供しているそうです。しかし、建物や設備が老朽化していること、アレルギー対応など給食への要求水準が高くなっていることから、施設を一か所に集約し新センターを建設して、衛生管理の徹底、アレルギー食の提供、災害時の米飯提供などができるように計画中とのこと。新センターは、都派遣の栄養士と市からの管理者を常勤させながら、運営を民間業者に委託するＰＦＩ方式を採用し、コストを下げつつ質の高い給食を実現できるそうです。

参加者からは、施設が大きくなると子どもたちのじかの声から遠くなる、食育の面からパック牛乳は好ましくないなどの疑問の声もありました。給食は保護者にとって最も関心が高いテーマのひとつです。市の職員と市民の間で、こうした生の声が交わされる機会を増やすことで、子どもたちの給食が豊かなものになると思います。

（Ｈ・Ｋ　草花在住）

第2回
市民のプラットホーム

日時:1月23日(火)
午前10:00～12:00
会場:あきる野ルピア
参加費:無料

テーマは、受動喫煙を予定しています。

お友達も
誘って、
気軽に来てね

2017 総選挙雑感
～衆議院選挙を終えて～

今回の総選挙、突然の解散によって始まったのですが、今回ほど野党陣営の離合集散があったのも過去にあまり例がなかったのではと思います。特に希望の党なる極右政党が出現し、この国も総保守体制、いわゆるかつての大政翼賛会の再現かと思いきや、その希望の党に行けなかった、あるいは排除された民進党の残党により立憲民主党が結党されました。このことにより、いわゆるリベラル派の受け皿ができ、三つ巴の選挙戦と相成りました。しかし、この希望の党は、政権交代を掲げ安倍政治を批判しつつも、結局、市民と野党による共闘を潰すために出現したのではないでしょうか。こうしたこともあってか、市民・野党共闘がいまいち纏(まと)まらなかった事を、大変残念に思っています。

もうひとつ残念に思うのが、‘一本化’に対して、最終的には、立憲民主党、共産党ともに勤労国民の事より、党利党略(お家大事)に走ってしまった事です。これには、唯々呆れるばかりです。その結果、予想されていた通り自民党の圧勝（悔しいですが）に終わり、それも与党勢力だけで３分の２を超えたわけで、憲法改悪に向けて加速すること間違いなしです。それを阻止するためにはこの先何をどうすれば良いのか、真剣に考え行動を起こすときではないでしょうか。（Ｋ・Ｋ　引田在住）

辻よし子・プロフィール

1960 年生まれ。小学校教員を経て、ボランティアとしてタイの農村教育に関わる。1995 年よりあきる野市に暮らす。「川原で遊ぼう会」を中心に、市内の環境保全活動に取り組む。3.11 以後、新たに脱原発の市民活動を始める。2015 年 10 月の補欠選挙で市議に当選。現在、２期目。家族は夫と大２、高１の息子、ネコ１匹。草花在住。

「辻よし子と歩む会」
会員募集中！
年会費 :1,000 円（カンパ歓迎！）
郵便振替
加入者名　辻よし子と歩む会
口座番号　00140-9-430053
ゆうちょ銀行（店番）〇一九（ゼロイチキュウ）店（019）
当座　0430053

HP をご覧ください！